

地域支援だより

山梨県立ふじざくら支援学校
地域支援部通信 第3号
令和2年8月吉日発行
文責：渡邊 里 小宮山麻子

今年は例年よりも梅雨らしい雨の日が長引き、九州では大雨で甚大な被害が出ました。富士北麓地域でもどんよりとした雲が空を覆い気分が晴れない日々が続きました。新型コロナウイルス感染症は再び感染者の増加が気になります。まだまだ油断できない状況が続いていますが、新しい生活様式を取り入れながら感染防止に努め、今できることを続けていきましょう。

さて、学校が再開し本校地域支援部でも訪問支援や研修支援の要請を数多くいただき、各園や学校での取り組みについて一緒に考えさせていただいています。子どもたちが発信している困り感や辛さに気付き、その子に合った支援を一緒に見つけていけたらと思います。短い1学期も終わりとなります。先生方や支援者の皆さんが取り組まれてきた実践を見直し、2学期に向けて準備をしていきましょう。



日々子どもたちと関わる中で「こんな時どうしよう・・・」と思われることは少なくないでしょう。今号はそんな“どうしよう”の解決や改善に向けた糸口が見つかるきっかけになればと思います。

こんな時どうしよう① ～先生、聞いて～



子どもたちが多く集まる学校や福祉事業所では絶えず子どもたちから大人に“報告”が来ることでしょう。「○○くんが△△した」と良いことも悪いことも耳に入ってくると思います。そんな時、支援者のみなさんはどのように対応していますか？

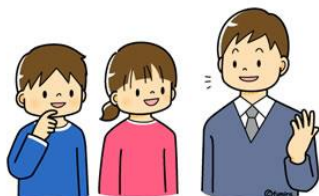
発達障害等の児童・生徒への関わり方を学び、理解が深まると大人はその子を受け入れようとする気持ちが強くなります。ところが一人の子どもへの理解を大切にするあまり、ほかの子どもとの対応のズレが出てきてしまうこともあります。子どもたちはみんな「話を聞いてもらいたい」のです。聞くことはどういうことなのか整理していきましょう。

○問題を把握（整理）する⇒相手とトラブルが起きた場合、何が問題になっているのか何が嫌だと思ったのかを一緒に確認していきます。

○能動的に聞く⇒繰り返す、言い換える、気持ちを汲む等の方法を使い、話し手の内部に含まれている本当の気持ちを聞き、話し手にフィードバックして、自分の理解を確認させます。

○自分たちの気持ちを伝えさせる⇒子どもたちの気持ちが出てきたら出来事を時系列に並べ替えて示し、一つずつ解決していくように問題のポイントを明確にしてあげる。

○解決できたらよかったところを具体的に伝える⇒教師が子どもたちに自分の思いを伝えることも大切です。



こんな時どうしよう② ～約束が守れない～



約束を守ることは社会に出てからもとても大切なものの一つです。そのため私たち大人は子どもたちに「約束を守りなさい」とつい言い過ぎてしまいがちです。そもそも約束する場合は、約束を伝える側と約束を聞いた側の両者が了解（納得）することで成立します。しかし、子どもと大人の約束は、大人から子どもに対して守ってほしいルールや決まりを伝えることが多く、注意や指示、命令の意味合いが強くなりやすいのです。約束が守れないと大人は注意してしまうこともあり、子どもはさらに約束というものが嫌いになってしまいます。子どもたちには約束は大切なもので約束を守ることが良いことを十分に学ぶ必要があります。

○約束の仕方⇒約束をする際は、子どもに約束を伝えるのではなく子どもと約束をするという心づもりが大切です。子どもが分かる言葉や絵、文字を使うことも効果的です。

○約束をするタイミング⇒子どもが何かいけないことをしたときに約束を伝えがちですが、そのような経験が積み重なると約束が嫌なものになってしまいます。子どもが落ち着いているときにゆっくり時間を取って話をするとういことです。

○約束の内容⇒子どもの年齢や理解力を踏まえた内容にすることが大切です。約束として伝える場合には、否定文ではなく肯定文でかつ具体的に伝えることがポイントです。

○約束した後の関わり方⇒子どもが約束を守ったという経験、「守ってよかった」と感じる事が大切です。約束を守れたら大人はしっかり子どもを褒めるということをお忘れするようにすることです。



ふじざくら支援学校では、特別支援教育や子育てに関する専門書の貸し出しを行っています。本号でお伝えした「こんな時どうしよう」と感じることにに関して、考えるきっかけとなる専門書もありますので、本校にお越しの際には、お気軽に御利用ください。

※本号は下にある本を参考、引用して作成しました。

『見方を変えればうまくいく！

特別支援教育リフレーミング

支援のミスチャンスを考える実践ケースファイル』



阿部利彦
中央法規出版株式会社

『月刊 実践障害児教育 7月号』



学研

お気軽にお問い合わせください。

山梨県立ふじざくら支援学校 地域支援部 担当：石井めぐみ 山本志織 小宮山麻子 渡邊里

〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1

TEL 0555-72-5161 FAX 0555-72-5164

E-mail chiiki@fujizaky.kai.ed.jp HP <http://www.fujizaky.kai.ed.jp>